

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3590800250		
法人名	(株)JAWA		
事業所名	街かどケアホームりんか		
所在地	岩国市川口町1-8-6		
自己評価作成日	平成30年10月1日	評価結果市町受理日	令和 1年 5月28日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成30年10月18日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムスケジュールにとらわれず、一人ひとりの生活リズムに合わせて自分らしく生活を送っていただいている。</li> <li>・行きたい場所へ自由に外出ができるように努めている。</li> <li>・飲酒や喫煙も自由に楽しんでいただけるようにしている。</li> <li>・食に関しても楽しんでいただけるように、旬の食材を用いたり、その日食べたい料理があればメニューを変更して提供させていただいている。</li> <li>・地域とのつながりを大事にし、地域貢献に努めている。</li> </ul>
--

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「その人らしくのんびり」という事業所理念を全職員が意識づけされ、利用者一人ひとりの自由な暮らしを支援されています。入居時のフェースシート(生活歴、人生の歩み、社会背景)やアセスメントシート(私の姿・生き方、介護への要望、したい事・して欲しくない事など)を活用されている他、日々の関わりの中での利用者の様子をケース記録や生活記録に記録されて、利用者の思いや意向の把握に努めておられ、その人に合ったペースでの暮らしを支援されています。利用者のこれまでの暮らしを大切にしておられ、居室の家具の配置や飾りを自宅と同じようにされたり、入浴後の晩酌や食後の喫煙、GPSを使用した車イスでの買い物など、利用者のそれぞれの思いに応えるために職員間で話し合わせ、柔軟な発想を取り入れながら試行錯誤を重ねて、利用者一人ひとりの個別支援に取り組まれています。</p>
---

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~56で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印			
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:24. 25. 26)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:10. 11. 20)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:19. 39)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2. 21)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:39)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:5)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:38. 39)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている (参考項目:12. 13)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:50)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:31. 32)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:29)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作成し、日々の実践に取り組んでいる。	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所独自の理念を作成し、事業所内に掲示している。会議や申し送りの中で理念が日々のケアに反映されているかを話し合い、実践につながるように努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元の川口竜神会の方から声をかけていただき、今年も参加を予定している。敬老会への参加もしている。	自治会に加入し、職員は地域の清掃作業に参加している。利用者は地元の恵比寿祭りや竜神神社の祭り、地区の敬老会に職員と一緒に参加している。事業所に、歌や踊り、手品や三味線などのボランティアが来訪し利用者や交流している。日々の散歩時や受診時に地元の住民と挨拶を交わしている。	・地域とのつきあい方の工夫
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通して理解を深めている。地域の方から声をかけていただき、困った時は入居させていただきたいと相談を受けている。		
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	全職員に自己評価を記入していただき、管理者が取りまとめている。評価を活かして職員と話し合い、改善に取り組んでいる。	職員に意義を説明した上で、自己評価をするための書類を配布し、職員が記入したものを管理者がまとめている。前回の外部評価結果を受けて、理念の共有に努め、災害時の地域との協力体制の構築、職員の知識や技術の向上を目標達成計画に掲げて改善に取り組んでいる。	
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、現状報告や入退居や待機者状況、事故、ヒヤリハット報告、風水害対策についても意見交換を行っている。	会議は2ヶ月に1回開催し、現状報告(利用者・待機者・職員の状況)、入退去報告、生活の様子、事故、ヒヤリ・ハット報告、身体拘束についての説明の後、意見交換を行っている。前回の評価結果を受けて、議事録を作成して自由に閲覧できるようにしている。	・運営推進会議を活かした取り組み

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	岩国市介護保険課・社会課の担当者へ、報告、連絡、相談を行っている。	市の担当者とは、書類申請時等に直接出向いたり、電話やメールで情報交換を行い、協力関係を築いている。管理者は担当課が開催する東部地区地域ケア会議に参加している。地域包括支援センター職員とは、運営推進会議時に相談や情報交換を行い、連携を図っている。	
7	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、新人研修や年2回の内部研修を行っている。参加できていない職員には、資料を用いて周知を行っている。今年度より、運営推進会議の場を用いて理解を深め、ご意見をいただき進めている。	職員は年2回の内部研修(身体拘束・虐待防止について)や身体拘束対策委員会の事例検討で学び、身体拘束しないケアに取り組んでいる。玄関は施錠せず、外に出たい利用者とは職員と一緒に出かけている。スピーチロックについては、気づいた時に管理者やフロア責任者が注意している。	
8		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	新人研修より虐待の防止について学び、年2回の内部研修でも重要なテーマとして取り上げ、常に意識して防止に努めている。		
9		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要な方への支援として、活用できるように取り組んでいる。		
10		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、解約又は改定等の際は、全て読み合わせを行いご説明を行っている。ご理解をいただいた上で進めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を設置している。ご要望に対して迅速な対応に努めている。利用者、ご家族より、気軽に話しをしていただける関係性を築けるように努めている。	苦情や相談の受付体制や処理手続きを定め、契約時に家族に説明している。家族からは面会時、年1回の家族会時、誕生会やクリスマス等の行事参加時、電話やメール等で意見や要望を聞いている。法人の事業所ブログに、利用者の日常生活の様子を掲載しており、家族からの意見をうけている。家族からはインターネットを介しての相互通話の要請や介護シューズの提供依頼などがあり、そのつど職員間で検討して対応している。運営に反映させるまでの意見は出ていない。	・家族等意見の反映の工夫
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の定例会議の場合、各ユニットごとの連絡ノートを活用して共有している。管理者は、職員から直接意見を伺い反映させている。	毎月の全体会議や申し送り時、ナイスアイデアボードへの記入等で職員からの意見や提案を聞く機会を設けている他、管理者は日頃から職員に声をかけて、気軽に意見が言える雰囲気づくりに努めている。課題とする案件については、法人の上司に電話で相談している。日々の気付きについては連絡ノートを活用して、職員間で共有している。	
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい職場環境作りを常に考えて、話しやすい雰囲気づくりに努めている。責任者や資格取得者には給与の昇給を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所ごとの内部研修や、新しく組織としての研修が始まり、トレーニングの機会を増やす取り組みを行っている。	外部研修は、職員に情報を伝え、経験や段階に応じ、勤務の一環として受講の機会を提供している。法人内の責任者が講師となり、年3回の研修(認知症ケア、介護計画、認知症の対応)を開催し、それぞれの研修に2名ずつの職員が参加している。受講後は報告書を提出し、復命報告している。内部研修は、年間計画をたて(電話対応、ビジネスマナー、虐待防止、防災、食中毒予防、熱中症、脱水予防、AEDの使い方、エンゼルケア、法人の理念など)職員が交替で講師となって実施している。新人研修は、管理者が2日間研修を行った後、先輩職員がついて、介護の技術や知識を働きながら学べるように支援している。	
15		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループ内の他事業者との交流の場は広がっているが、外部の同業者との交流はできていない。		
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
16		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	訪問が可能な方へは、顔見知りの関係を築けるようにお話をさせていただいている。		
17		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族とも、お話をさせていただくことで不安が取り除けるように努めている。		
18		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護保険内のサービス、当事業所に関わるサービス以外にも直接的サポート等、必要なものをご家族と一緒に考えて導入している。		
19		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人を尊重し、寄り添うことで信頼関係を構築している。遠慮をされているご利用者さんには、話しができる時間を作っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来所持のコミュニケーションの他、手紙や電話、メール等を使い常に関係を築けるように努めている。		
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人が通われていた理美容院や病院、馴染みの場所との関係が途切れないように努めている。友人宅への訪問や手紙のやりとり、急な来所にも対応している。	家族の面会や親戚の人、知人や近所の人の来訪がある他、手紙やハガキのやりとり、電話の取り次ぎ、携帯電話や海外に住む家族との衛星電話の利用など、馴染みの人との交流を支援している。馴染みの美容院の利用や自宅への外出を支援したり、家族の協力を得て法事や墓参り、孫の結婚式に出席しているなど、馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援に努めている。	
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご本人の性格に合わせて座席の位置を工夫している。ご利用者さんが孤立されないように職員が間に入り、繋ぎ役になることもある。		
23		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居された後も、お見舞いに伺ったり、暑中見舞い年賀状等のあいさつ状を送らせていただいたりしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
24	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前の情報や日常の関わりから一人ひとりの思いをくみ取れるように努めている。困難な場合は、本人との関わりの中から、本人本位に検討している。	入居時のフェースシート(人生の歩み、生活歴、社会背景)やアセスメントシート(私の姿、生き方、介護への要望、したい事、して欲しくない事、ADL、生活上のリスク等)を活用している他、日々の関わりの中での利用者の様子をケース記録(生活の流れ、特記事項)と生活記録(日常の様子、サービスの経過)に記録して全職員が共有し、思いや意向の把握に努めている。困難な場合は、日常生活での本人との関わりの中から本人本位に検討している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に詳細なヒアリングを行うことを基本としている。入居後もご本人に合ったサービスの提供に努めている。		
26		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態、心身の変化を観察し、職員間で共有している。		
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者、各責任者、看護師を中心に、サービス担当者会議を開催し、モニタリングを含めご利用者さんの現状に即した介護計画を作成している。	計画作成担当者を中心に管理者、看護師、職員が参加して、サービス担当者会議を開催し、本人や家族の要望、主治医、薬剤師の意見等を参考にして話し合い、介護計画を作成している。6ヶ月ごとにモニタリングと見直しをしている他、利用者の状態に変化があればそのつど現状に即した介護計画を作成している。	
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録には、ご利用者さんに合わせた用紙を用いている。一人ひとりの行動や人柄が分かるように記録している。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ニーズに即したサービスが行えるように、ご利用者さんに寄り添い多様なサービスや支援を行っている。		
30		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内の役員や民生委員、社協等と連携して見守れる体制を作っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者さんやご家族が希望される医療機関への受診を継続して行っている。ご要望がない場合は協力医療機関への受診をお願いしている。 緊急時には、かかりつけ医に連絡して指示を受け、夜間は救急搬送で対応している。	事業所の協力医療機関の他、利用者や家族が希望する医療機関がかかりつけ医となっている。月1回事業所が協力医療機関やかかりつけ医への定期受診を支援して、家族に電話で報告している。家族の協力を得ての受診も支援している。協力医療機関の歯科へは必要な時に受診し、月1回の訪問診療や口腔ケアを受けることができる。緊急時や夜間は看護師を通してそれぞれのかかりつけ医に指示を仰いで対応しているなど、適切な医療が受けられるように支援している。	
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々ご利用者さんの状態を把握し、看護師、病院との連携に努めている。看護日誌にも詳細を記録し、必要があればご家族への連絡、相談を行っている。		
33		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	毎日お見舞いに伺い、励ますことで早期退院ができるように努めている。病院のスタッフから最新の情報を得るようにしている。入院時には、看護師が記入したサマリーを提出し、情報提供している。		
34	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期の方針については契約時より話をさせていただき、介護計画の説明の際にも再度ご家族の意向を伺い、ご家族の中でもよく話し合ってもらおうよう、ご説明をしている。状態に応じて医師や家族と方針を決めて共有している。	契約時に「重度化対応・終末期ケア対応指針」に基づいて、事業所でできる対応について家族に説明している。重度化した場合は、利用者や家族の意向をふまえた上でかかりつけ医と話し合い、方針を決め、全職員で共有して支援に取り組んでいる。職員は内部研修で、エンゼルケア等について学んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	ヒヤリハット、事故発生後は、法人担当者へ送信を行い、当日の勤務者で検討会議を行った後、再度、法人担当者へ結果を送信している。 緊急時の対応やAEDの操作方法について、内部研修を行っている。	ヒヤリハット・事故報告書は、発見者が事故報告書に記録し、法人のアクシデント担当者にFAX送信を行い、当日の勤務者で検討した結果を再度FAXして報告している。他の職員には報告書を回覧している。事故発生への対応については内部研修でAEDの使い方を学習しているが、すべての職員が応急手当や初期対応の実践力を身につけているとは言えない。	・全職員を対象とした応急手当や初期対応の定期的訓練の実施
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の夜間を想定した火災時の避難、通報、消化訓練を行っている。風水害についても内部では訓練を行っているが、地域の方との合同訓練は実施できていない。	年2回夜間想定火災と風水害の避難訓練、通報訓練、避難経路の確認を利用者と職員が一緒に行っている。防災マニュアルを作成し、職員間の緊急連絡網を作っているが、災害発生時に対する実践的な訓練としては十分とは言えず、地域との協力体制を構築するまでには至っていない。事業所の3階を地域住民の避難場所として提供し、備蓄品として3日分の飲料水や食料品を用意している。	・災害対策の実践的な取り組み ・地域との協力体制の構築
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを傷つけないように言葉を選び声かけを行っている。内部研修を通してマナーについても学んでいる。	職員は内部研修(法人の理念、ビジネスマナーなど)で学び、理解しており、利用者の誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。気になった時には、管理者がその都度注意している。	
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話を大切にし、何気ない会話の中から思いを感じ取れるように努めている。なるべく自己決定をしていただけるように、例え話しを出したり工夫をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	タイムスケジュールはないので、業務を優先するのではなく、ご利用者さん本意で過ごしていただけるように支援している。		
40		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合わせて、ご本人の好まれる服装を尊重している。髪が伸びた際、申し出がない場合には、職員から理美容院へのお誘いをしている。		
41	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえや盛り付けをできる範囲で手伝っていただき、職員と一緒に楽しみながら準備をしている。食事の際は、同じテーブルで職員も同じものを会話をしながら一緒にいただいている。	昼食と夕食の材料は業者からの配達を利用し、朝食と炊飯、汁物は事業所で調理している。地元の業者にも食材を注文して、利用者の好みや希望に応じたメニューで食事を提供している。野菜の下ごしらえや盛りつけ、食器洗い、お盆拭き、テーブル拭きなど、利用者ができることを職員と一緒にしている。利用者と職員は同じテーブルを囲んで会話を楽しみながら同じものを食べている。行事食(おせち、節分、ひな祭り、夏祭り、敬老会、クリスマス、誕生会など)やおやつづくり(ホットケーキ、おはぎなど)、外食(回転寿司、うどん、喫茶店のケーキセットなど)、利用者の希望を取り入れた個別メニューや入浴後のビール、個別の外食支援など、食べる事を楽しむ機会を色々と工夫して支援している。	
42		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量を把握し、食べやすいように食事形態を変えている。水分摂取量が少ない場合には、種類を変えてこまめに提供している。		
43		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分でできるご利用者さんは、居室洗面所で口腔ケアをしていただいている。必要な場合には職員が口腔ケアを行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄リズムを把握するように努めている。又、失敗がないように時間をみて声をかけさせていただき、できる限りトイレで排泄ができるように支援している。	排泄チェック表を参考にして利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、その人に応じた声かけや誘導を行い、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	
45		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	下剤を服用されているご利用者さんが多いが、薬だけに頼らず食事や水分等の摂取にも配慮している。		
46	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	一人ひとりの意向に添った入浴ができるように支援している。その日の体調や気分に合わせて声かけを工夫し、無理な対応はしていない。	入浴は毎日、9時から12時までと13時から16時までの間可能で、週に3日はゆっくりと入浴が楽しめるよう支援している。利用者の状態に応じて、シャワー浴、足浴、清拭などを行い、柚子湯や入浴剤を利用して入浴を楽しんでいる。入浴したくない利用者には声かけを工夫したり、時間をずらしたり、職員を変えて声かけするなど工夫している。	
47		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりのリズムで自由に休んでいただけるように、居室ベッドは常に整った状態であるように努めている。		
48		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局の居宅管理指導を受けており、状態の変化時には受診を行い、薬の変更があれば速やかに薬局の薬剤師へ連絡ができている。副作用についても指導を受け、注意観察している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩やドライブ、買い物の同行、カラオケ等、お好きなご利用者さんへ機会を設け楽しんでいただいている。季節の壁飾りを職員と一緒に楽しみながら作成している。洗濯物を干していただいたり畳んだり、活躍できる場面を作っている。	テレビ(歌番組、相撲、時代劇など)視聴、歌、カラオケ、口腔体操、ラジオ体操、新聞、雑誌、日記、短歌、俳句、習字、トランプ、カルタ、花札、ゲーム、風船バレー、脳トレ(漢字、計算、なぞなぞ)、ぬり絵、貼り絵、ちぎり絵、折り紙、縫い物(雑巾)、編み物、季節の壁飾りづくり、三味線などのボランティアとの交流、季節行事(花見、運動会、納涼祭、クリスマス等)など色々な楽しみごとを支援している。自室の掃除、洗濯物干し、洗濯物たたみ、ゴミ袋づくり、ゴミ袋の名前書き、お茶の葉の袋詰め、花の水やり、野菜の下ごしらえ、盛りつけ、テーブル拭き、お盆拭き、食器洗い、食器拭きなど一人ひとりに応じた活躍できる場面づくりをして、利用者が張り合いや喜びのある日々が過ごせるように支援している。	
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お1人で外出をされるご利用者さんには、GPSをお渡しして自由に外出をしていただいている。ご利用者さんの好みに合わせた場所へ外出ができるように努めている。	買い物や散歩の他、季節の花見(桜、バラ、菖蒲、紅葉など)、ドライブ(初詣、錦帯橋、潮風公園、フラワーランドなど)、個別の外出支援(回転寿司、うどん等の食事、GPSを活用したコンビニへの買い物)、家族の協力を得ての外出支援など、戸外に出かけられるように支援している。	
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理ができないご利用者さんも財布を持たれており、買い物や受診に行かれた際に、ご自身で支払いをされている。同行した職員は傍で見守り、必要に応じた支援を行っている。		
52		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話で、ご家族やご友人へ連絡ができるように支援している。居室からスカイプを利用して、外国に居られるご家族へ連絡をされたり、手紙のやりとりもできるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	空調や音に関しては、不快や混乱をまねかないように気をつけて、職員が調節している。季節に合わせた装飾で四季を感じていただいている。	リビングは自然の光が差し込んで明るく、広々としており、大きなガラス窓の外に広がる河川の景色から四季折々の自然を感じることができる。大型テレビの前のゆったりとしたソファでくつろいだり、食卓に座っておしゃべりしたり、喫煙コーナーを設けているなど、利用者一人ひとりの居場所づくりの工夫をしている。対面式の台所からは調理の匂いや音がして生活感を感じることができる。壁には、利用者と職員が一緒につくった季節の作品や利用者の作品、プロ野球チームのポスター等を飾っている。1階の地域交流室では事業所の運動会やクリスマス会を開催している他、地域の人の交流スペースにもなっている。室内の温度、湿度、空気清浄に配慮し、居心地良く過ごせるように工夫している。	
54		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングスペースにソファを備え、くつろげる場所を作っている。喫煙をされるご利用者さんには専用テーブルを配置し、独りになれる場所を作っている。		
55	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際には、家族と相談しながらできる範囲で、大切にされている物や使い慣れたものをそのまま使用していただけるようお願いしている。	テレビ、冷蔵庫、机、パソコン、テーブル、イス、ソファ、タンス、ドレッサー、仏壇、ハンガーラック、衣装ケース、置き時計、コーヒーメーカー、洋服、小説など書籍、事典、雑誌など馴染みのものや自宅で使い慣れたものを持ち込み、自宅と同じように配置している。家族の写真、ぬいぐるみ、職員からのプレゼントの色紙など好みのものを飾って利用者が安心して居心地良く過ごせる様に工夫している。	
56		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室に、ご利用者さんがお一人でも分かるように掲示物をしている。導線に物を置かないように配慮している。		

## 2. 目標達成計画

事業所名 街かどケアホームりんか

作成日: 令和元年5月1日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	事故防止の取り組みや事故発生時の備えとして、緊急時の対応やAEDの操作方法について内部研修を行っているが、全ての職員が実践力を身につけているとは言えない。	応急処置や初期対応を、全ての職員が行えるよう実践力を身につける。	応急処置や初期対応をより実践的な形式で行い、全ての職員が対応できるように内部研修だけでなく、地域の資源を活用し取り組む。	12ヶ月
2	36	年2回の夜間を想定した火災時の避難、通報、消火訓練を行っているが、地域との協力体制は築けていない。	職員の知識や技術の向上を計るとともに、地域との協力体制を築く。	事業所内だけの訓練以外に、消防へ訓練の要請を行い、専門的な意見を伺い見直しを行う。地域の方々にも参加を願い、協力体制を構築できるように努める。	12ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。